

さぬき水田営農だより

No.
104

第104号（発行日）令和5年7月31日（発行）香川県農業再生協議会水田部会（事務局）香川県農業協同組合中央会

香川県産麦の単収・品質の向上により、経営の安定化を図りましょう！

香川県産の小麦「さぬきの夢2009」、はだか麦「イチバンボシ」等の麦類は、製粉業者や精麦業者などから一定の評価がある一方で、需要に応じた麦種生産や高品質な麦の安定供給が求められています。

麦は、主要な農業機械が水稻と共通であることから、新規作付の場合でも比較的少ない設備投資で取り組め、省力的に冬場の農地を有効活用することが可能です。

また、経営面でも畑作物の直接支払交付金（ゲタ対策）や産地交付金（二毛作助成等）を始め助成措置が充実しており、生産量と品質を確保することで、安定した収益が見込めます。

農地の有効活用と収益力向上のためにも、麦の単収・品質の向上を図りましょう！



麦の単収・品質向上の実現には、適期における作業・管理が最重要となります。適期の播種・収穫に必要な農業用機械・器具整備のために、農業用機械・器具導入支援事業を活用しましょう。

香川県では、集落営農組織や認定農業者、認定新規就農者等の担い手を対象とした農業用機械・器具の導入を支援する補助事業を実施しています。

これらの補助事業を活用して米麦の新規作付けや適期作業により経営発展を図りましょう。

補助事業の詳細については、下記の担当課にお問い合わせください。

●集落営農組織が対象

「みんなで守る地域農業整備事業」…香川県農業経営課、各市町の農業主務課

●認定農業者、認定新規就農者等が対象

「生産力向上農業機械等整備事業」…香川県農業生産流通課、各市町の農業主務課



令和4年度の「楽・速農業機械等導入支援事業」を集約し、令和5年度から新たに施行しました。

こちらの二次元コードから、
事業の概要を確認できます。



担い手への支援施策ガイド

機械導入

適期播種



播種機

適期収穫



コンバイン

これまでの産地交付金の設定を見直します！

見直しの趣旨

水田活用の直接支払交付金のうち**産地交付金**は、地域で作成する「水田収益力強化ビジョン」に基づき、地域の特色のある魅力的な農産物の振興や、産地づくりに向けた取組みを支援するものです。

国から県に配分された配分額の範囲内で、交付対象作物や交付単価を機動的に設定することができます。香川県では、麦との二毛作や耕畜連携の推進などの支援に活用してきました。

しかし、国からの配分額は年々減少しており、これまで設定していた交付対象作物と交付単価では、財源が賄えず交付が難しいため、香川県としても産地交付金の設定を見直す必要がでてきました。

香川県における産地交付金の配分額の減少幅の推移

	R2→R3	R3→R4	R4→R5	R5→R6
配分額の減額幅 (追加配分含む)	20%減	8%減	同等 (減額の可能性あり)	更に減少？

そこで、水田農業における「県の振興施策の反映」や「制度・情勢への対応」、交付金の「設定内容の簡素化」などに留意し、令和6年度の産地交付金の設定に向けて、昨年1年をかけて関係者で協議を重ね、見直しの方針を決定しました。

見直し方針

土地利用型作物を主体とし、

① 多様な水稻の生産拡大



② 麦・大豆の生産振興



③ 地域に応じた取組みの推進



の大きな3本柱で、県の農業振興方針にあった使途設定を行います。

また、

- ・上記の3本柱の構成で、使途ごとに内容を見直します。
- ・使途の効果を作付面積拡大だけでなく、品質向上の面でも評価します。

最終的な交付単価は、香川県農業再生協議会での審議を踏まえ、国からの配分額が分かり次第、お知らせします。

みんなの思いを
1つに
まとめよう

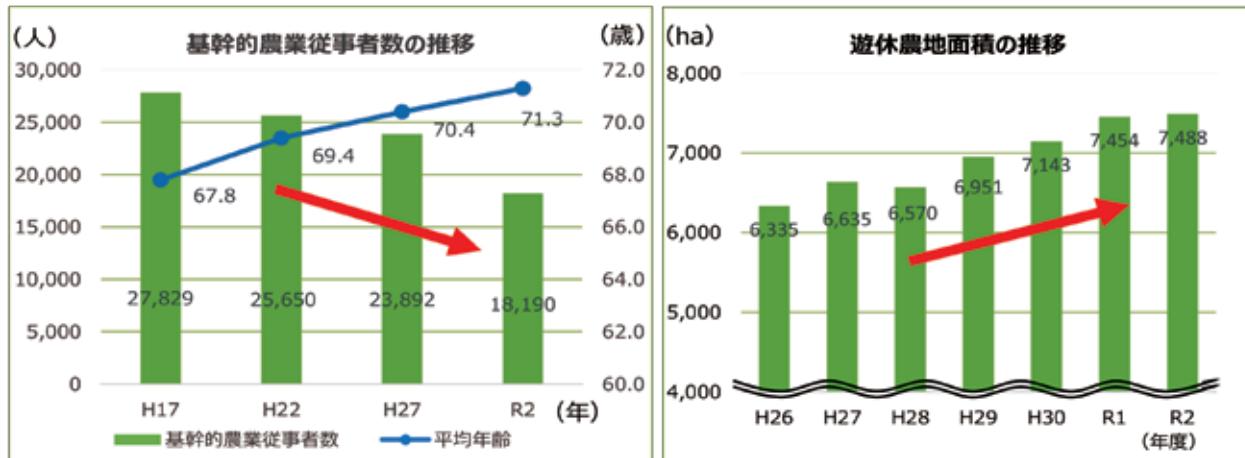
みんなで守ろう! 地域の農地

将来の地域の農地利用を、皆で話し合いましょう！

香川県の農業の現状

農業従事者の減少や遊休農地の増加で地域農業の維持が難しくなった。

- 基幹的農業従事者は、この10年で3割減少し、平均年齢も71歳と高齢化が進んでいる。
- 遊休農地もここ5年間で13%増加している。



なぜ話し合いなのでしょうか？

地域の農地や農業を守るためにには、①個々の農家が営農を継続するとともに、②地域ぐるみで人づくり・農地の有効活用・保全管理などに取り組み、③それらを市町等の関係機関が支援する取組みを相互に進める必要があります。そのため地域ぐるみの話し合いと合意が必要になります。

① 地域で話し合う場を作る

地域の農地の地権者や耕作者に加え、市町職員、農業委員等が集まりましょう。

② 将来の農地利用を行う区域を決める

農業を行う区域や、鳥獣緩衝帯など農地保全等を進める区域を考えましょう。

地域の現状確認と 新たな問題の整理



⑤ 地域の将来方針の 話し合い

地域農業を継続するための将来方針について一定の方向性が決まるまで、繰り返し話し合いましょう。

市町・農業
委員会等で
結果を整理

話し合い結果

③ 農業を行う区域の 農地利用の話し合い

10年先を見据え、筆ごとに誰が耕作するのかを話し合います。将来、耕作できない農地は、担い手への集積・集約化を考えましょう。

④ 保全等を進める区域などの維持管理方法の話し合い

緑肥作物や飼料作物などの作付けに加え、農道やため池等の法面や用水路の管理办法をまとめましょう。



10年後の農地利用を
地域の将来方針等を
「目標地図」 に、**「地域計画」** にまとめます！

「地域計画」の話合いで、これからも農業利用を行う区域と これからは農地保全等に取り組む区域を検討してみましょう

農業利用を進める区域

水稻や野菜などの農業生産の取組み

農業生産として利用が行われることを基本として、
まず「農業利用を進める区域」を検討



ここがポイント!

農地保全等区域

粗放的な利用等の取組み

農業生産に向けた様々な努力を払ってもなお農業上の利用が困難である農地については、「農地保全等区域」として粗放的な利用を検討

粗放的な利用等の例 省力的かつ簡易な手法により農地のまま利活用

- ①縁肥・景観作物（レンゲ、ヒマワリなど）
 - ②飼料作物（ソルゴー、青刈りトウモロコシ、牧草）
 - ③水田の水張り→水田機能の維持、連作障害の回避
 - ④鳥獣緩衝帯→山際を定期的に草刈りし、侵入を防止
 - ⑤ソバ→生育期間が約3か月で、省力・低成本で栽培できる。
- ※中山間地域等直接支払交付金や多面的機能支払交付金の取組み地区では、取組み内容に応じて、交付金が交付されます。



粗放的な利用等により、地域の農地を維持・保全し、将来の担い手等へ継承

地域計画に関するお問い合わせ先

お住いの各市町の 農業主務課、農業委員会、県農業改良普及センター
もしくは 香川県農業経営課農地マネジメント推進室 ☎087-832-3408

農作業を代行する「農業支援グループ」を作りませんか！

☆農業の担い手不足や遊休農地の増加といった課題が深刻化する中、高齢農家や兼業農家の方々の農作業を請け負う「農業支援グループ」の組織化について考えてみませんか？



地域のニーズに
応えた
代行作業の例



県の3つの支援策：組織設立から活動拡大まで

1 農業支援グループの設立支援
(定額:上限10万円)

2 受託面積の拡大支援
(1作業4,000円以内/10a、
上限20万円/組織)

3 農業機械の導入支援
(上限100万円、1/3以内)

これまで県内の15グループが支援策を活用して、農作業の代行で活躍中!!

お問い合わせ先

農業支援グループの設立や支援策等については下記へご連絡ください。

香川県農政水産部農業経営課 担い手支援グループ

☎087-832-3406 ☎760-8570 香川県高松市番町四丁目1-10

香川の集落営農

検索



米の高温障害について

令和4年産米の作柄として、「ヒノヒカリ」などの普通期作は、生育期間において高温傾向で推移したため茎数・穂数が多くなったことに加え、米が充実する時期（登熟期）である9月に厳しい暑さとなり、日照不足となる時期もあったことから品質低下が目立ちました。

本県だけでなく、西南暖地の米産地では、高温障害による品質低下をいかに軽減するかが大きな課題となっています。

(参考) 令和4年香川県産の主要品種の等級比率

(令和5年4月末現在 農林水産省)

	1等	2等	3等
コシヒカリ	2.3%	66.6%	31.1%
あきさかり	39.2%	58.9%	1.9%
ヒノヒカリ	1.5%	94.9%	3.4%
おいでまい	79.1%	19.7%	1.2%

令和5年産、米の高温障害を軽減するための対策に取り組みましょう!

●高温障害を軽減するための対策

これから対策 ◎適正な水管理に努める。

- 出穂期頃(穂の出始め～穂揃い)は水分を切らさない。
- 落水は作業に支障のない範囲で遅らせ、乾き過ぎないよう走水を行う。

◎稲の活力を高め、最後まで維持する。

- 生育後半に肥料切れしないような適正な施肥

次年以降の対策 ◎荒起こし時の深耕、土壤改良資材の施用

■田植時期を工夫する。

- 出穂期が高温期と重ならないよう田植時期を遅らせる。
- 無駄な分けつ、粉を作らない管理を心掛ける。
- 適正な株間(目安:18~22cm)での田植と適期の中干し実施
- 「おいでまい」等の高温耐性品種を導入する。



基本的に忠実な栽培管理が
暑さに強い米づくりにつながります!

※品種・田植時期毎の具体的な栽培方法は、地域の栽培しおりをご確認ください。

参考

●高温障害とは…

米が充実する時期の高温により、品質が著しく悪化すること。

●高温障害による症状

■被害粒の発生による品質低下

白未熟粒…粒が障害を受けて充実が一時的に止まり、空洞ができる
白く濁って見える。

高温を受ける時期によって濁る部分が変わる。

胴割粒…粒に亀裂があり、割れやすくなる。

■不稔(実が入らないこと)による収量の減少



米粒の充実が進む順番

●高温障害による被害粒の種類

被害粒の種類	乳白粒、心白粒	腹白粒、背白粒、基部未熟粒	胴割粒
主な発生原因	実が入る時期(比較的早い時期)の高温、日照不足、 穂数が多くなること	実が入る時期(中～後期) の高温、肥料切れ	穂が出る時期(出穂期)の高 温・水不足、刈遅れ、過乾燥
被害粒の様子			

これから始める水稻栽培

vol.14



令和5年産水稻栽培、
今のところ順調。ここから
一気に後半に突入です。

つとむさん(58歳)

ここ最近、今頃になると、水稻の栽培面積が減少しているのを実感します。

「儲からない」「後継者がいない」「機械が壊れた」など、厳しい現状はあります。ここは「逃げたら一つ、進めば二つ」、最近の某アニメでお気に入りの言葉です。

14回目は、「分けつ」です。

「分けつ(茎)」を 数えてみました



令和4年6月26日に田植した「おいでまい」で、ちょうど田植え後20日に撮った写真です。

分けつ(茎)数は平均16本/株、あと10日ぐらいで「中干し」開始です。

※どうでしょうか? 見た目より分けつ(茎)数は多いと思われたのではないでしょうか? そうなんです。実際田んぼに入って、一本一本数えてみると、分けつ数は確保されてる場合が多くなっています。一株一株でバラつきはありますが、平均20本/株以上になれば、その年の穗数は確保されていますので、安心して「中干し」開始です。

【注意】「おいでまい」「ヒノヒカリ」の6/20日過ぎの田植えでも8月上旬には中干しを終えてください。

田んぼダムに取組んでみませんか?

田んぼダムって?

田んぼがもともと持っている水を貯める機能を利用して、大雨時に一時的に雨水を貯めるよう、水田の排水口に排水量を抑える専用のせき板※を設置することで、ゆっくりと水田から排水が行われ、地域の浸水被害を軽減する取組みです。

※無料で配布します

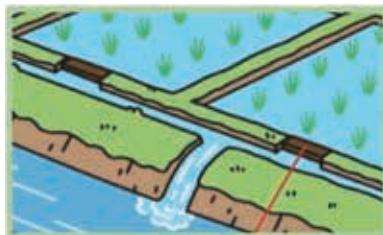


写真 →
せき板
設置状況

取組んでいただける活動組織に ◆香川県田んぼダム推進事業

- 排水堰管理費用(500円/1区画)
⇒※交付は1回限り
- 畦畔補強(畔塗)費用1/2
- 畦畔復旧費用1/2
などが補助されます

また、

◆多面的機能支払交付金

についても田んぼダムに取組むことができます
さらに、
資源向上活動(共同)の対象田面積
1/2以上が田んぼダムに取組む場合、
田面積に対して400円※/10aの加算
もあります

※活動5年目以降または長寿命化組織については300円/10a

田んぼダムお問い合わせ先

香川県農政水産部土地改良課

農業基盤整備グループ

☎087-832-3438

香川県農政水産部農村整備課

農村環境グループ

☎087-832-3449

香川県 田んぼダム

検索



内容に関するお問い合わせ先

香川県農業協同組合中央会 総合対策部 総合対策課

TEL : 087-825-2503

香川県農業協同組合 営農部 農産指導課

TEL : 087-818-4104

香川県 農政水産部 農業生産流通課

TEL : 087-832-3418

香川県農業再生協議会ホームページ

<https://www.saiseikyo-kagawa.jp/>